		等専門学校	∶ │ 開講年度 │令和05年度 ((2023年度)	授業科目	言語と社会(中国語)				
科甘基	碰情報 一种	<u> </u>	Z T CODITE Z T FRICH	(2023 192)	<u> </u>					
<u>- 1 日 王</u> 科目番号		0085		科目区分	一般 / 選択					
授業形態	Ĕ	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2					
開設学科	4	機械工学	≠分野	対象学年	5					
開設期		通年		週時間数	2	2				
教科書/	教材	いにち	中国語』、『中国語への道一近きよ	中いぶこみ広場 簡明版 り遠きへー』改訂版 P 秀 高原明生 川島郭	饭 内田慶市 奥村佳代子 塩山正純 張軼欧 共著、					
担当教員		田野,池								
到達目	標									
感覚を身 ローマ なる。	まにつけ,技	術者としての	アジアで活躍する国際企業の現状に触れ D仕事に活かせるようにする。 と声調を正しく発音することができ、	•						
<i>/V</i>	<i></i>		理想的な到達レベルの目安 [優]	標準的な到達レベル	レベルの目安 「良」 未到達レベルの目安 「不可」					
			中国語の聞き取りができ、正確に 発音できる。中国語で簡単な文章	中国語で白コ切合が	できる。中国	中国語を聞き取り、発音すること ができない。中国語の文法がまっ				
			が書ける。 中国の文化や経済事情について知り,独自に関心を拡げて探求を深めることができる。	 中国の人々の暮らし	について知り	たく理解できていない。 国際社会の多様性についての見識 を有していない。				
 学科の	到達日煙	 項目との関	- !	1 = -						
			到床 教育到達度目標 F							
	a JABEE f	ᆙᄽᄼᆍᆸᆞ	ᄉᄗᅶᅜᅼᆇᅜᆇᅜᅜᆸ							
教育方	法等									
概要		との歴史 生の皆さ 発音記	の伝統・文化の理解を深めることは国際的技術者として必須です。この科目では、中国に焦点を当てて、日本的関係、文化的相違や,現代における日本との関係について学習し、中国文化への理解を深めていきます。学んに中国語圏に対する興味を抱いてもらうことが目標です。 号をしっかり習得し、日常生活の中で良く使われる表現を用いて会話できるようになりましょう。そのためング&スピーキングを通じた日常会話の実践練習も行います。(目標A:50%、目標F:50%)							
授業の進	進め方・方法	定期証	験(100%)によって評価します。60点未満の者には再試験もしくは課題提出を課し、60点以上を合格と 点の総計が60点以上であれば合格です。授業に臨む態度を±10点の範囲で,また,自由提出のレポート作 だ者については+10点の範囲で「その他の評価」として加味します(評価点の上限は100点)。							
				が他の評価」として加め	いまり(評価点	気の上限は100点)。				
注意点		授業中			習と復習も必要	 です。新出単語を予習した上で授				
		業を受け	Pは積極的に参加すること。ノートをI ナてください。勉強した内容を繰り返し		習と復習も必要	 です。新出単語を予習した上で授				
授業の		業を受け 修上の区分	ロは積極的に参加すること。ノートを即 けてください。勉強した内容を繰り返し } 	図ることは必須です。予 し復習して覚え, 使いこ	習と復習も必要	です。新出単語を予習した上で授 いましょう。				
授業の	属性・履 ティブラー:	業を受け 修上の区分	Pは積極的に参加すること。ノートをI ナてください。勉強した内容を繰り返し		習と復習も必要	です。新出単語を予習した上で授 いましょう。				
授業の □ アク	ティブラー:	業を受け 修上の区分	ロは積極的に参加すること。ノートを即 けてください。勉強した内容を繰り返し } 	図ることは必須です。予 し復習して覚え, 使いこ	習と復習も必要	 です。新出単語を予習した上で授				
授業の □ アク	ティブラー:	業を受け 修上の区分 ニング	中は積極的に参加すること。ノートを取けてください。勉強した内容を繰り返し } □ ICT 利用	図ることは必須です。予 少復習して覚え, 使いこ 図 遠隔授業対応	習と復習も必要 なせるようにた	です。新出単語を予習した上で授 いましょう。				
授業の □ アク	ティブラー:	業を受ける	Pは積極的に参加すること。ノートを取けてください。勉強した内容を繰り返し } □ ICT 利用 □ 摂業内容	図ることは必須です。予 少復習して覚え, 使いこ 図 遠隔授業対応	習と復習も必要	です。新出単語を予習した上で授 いましょう。				
授業の	ティブラー:	業を受け 修上の区分 ニング	中は積極的に参加すること。ノートを取けてください。勉強した内容を繰り返し } □ ICT 利用	図ることは必須です。予 」復習して覚え,使いこ 図 遠隔授業対応 週 過ご 普通	習と復習も必要なせるようにな なせるようにな ごとの到達目標 通話、簡体字、3 で学び、人称代名	です。新出単語を予習した上で授いましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子名詞を用い、身近な人を簡単に紹介				
授業の □ アク	ティブラー:	業を受ける 業を受ける 第一を	中は積極的に参加すること。ノートを取けてください。勉強した内容を繰り返し }	図ることは必須です。予 」復習して覚え,使いこ 図 遠隔授業対応 週 過ご 普通	習と復習も必要なせるようにな でとの到達目標 通話、簡体字、教 できずび、人称代表 できるようになる。	です。新出単語を予習した上で授 りましょう。 実務経験のある教員による授業 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子				
授業の □ アク	ティブラー:	業を受け 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	中は積極的に参加すること。ノートを取けてください。勉強した内容を繰り返し	図ることは必須です。予 し復習して覚え, 使いこ ☑ 遠隔授業対応 週こ 普通 でで 同」	習と復習も必要なせるようになるとの到達目標 証話、簡体字、多でで、人称代表をようになる。	です。新出単語を予習した上で授 かましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子 名詞を用い、身近な人を簡単に紹介				
授業の □ アク	ティブラー:	業を受ける 業を受ける 第を受ける 第一を	中は積極的に参加すること。ノートを取けてください。勉強した内容を繰り返し }	図ることは必須です。予 し復習して覚え, 使いこ 図 遠隔授業対応 週こ 普通でで 同」 指表現で	習と復習も必要なせるようになるとの到達目標 種話、簡体字、多でで、人称代表をようになる。 になるというになる。 に、で、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	です。新出単語を予習した上で授 かりましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子 名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表				
授業の □ アク	ティブラー:	業を受け 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	中は積極的に参加すること。ノートを取けてください。勉強した内容を繰り返し	図ることは必須です。予 し復習して覚え,使いこ 図 遠隔授業対応 週3 普通をでき 同」 指えてき 名前の 名前の 名前の 名前の 名前の 名前の 名前の 名前の	習と復習も必要なせるようになる。 ごとの到達目標 通話、簡体字、教 ござい、人称代表 であようになる。 こ にできるようになる。 こ できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるな。 できるなる。 できるな。 できるなる。 できるなる。 できるな。 できる。 できるな。 できる。 できるな。 できるな。 できるな。 できる。	です。新出単語を予習した上で授 かりましょう。 □ 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子 名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表 る。 の呼び方と書き方を使いこなせるよ				
授業の □ アク	ティブラー:	業を受け 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週	中は積極的に参加すること。ノートを用けてください。勉強した内容を繰り返し 計でください。勉強した内容を繰り返し	図ることは必須です。予 一復習して覚え,使いご 図 遠隔授業対応 週 普通でです。 同 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月	習と復習も必要なせるようになる。 ごとの到達目標 通話、簡体字、教 ござい、人称代表 であようになる。 こ にできるようになる。 こ できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるようになる。 できるな。 できるなる。 できるな。 できるなる。 できるなる。 できるな。 できる。 できるな。 できる。 できるな。 できるな。 できるな。 できる。	です。新出単語を予習した上で授 かましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子 名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものをまる。 の呼び方と書き方を使いこなせるよ し、紫禁城と万里の長城について紹				
授業の アク 受談	ティブラー:	業を受け 修上の区分 コング 週 1週 2週 3週 4週 5週	中は積極的に参加すること。ノートを用けてください。勉強した内容を繰り返し計 ICT 利用	図ることは必須です。予 一復習して覚え,使いご 図 遠隔授業対応 週 普通でです。 同 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月	習と復習も必要なせるようになる。 ごとの到達目標 題話、簡体字、多 ござい、こなる。 に代詞と疑問詞ができるようになる。 にできるようになる。 になるの中国語が なるの概況を理解している。	です。新出単語を予習した上で授 かましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子 名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものをまる。 の呼び方と書き方を使いこなせるよ し、紫禁城と万里の長城について紹				
授業の □ アク 授業計	ティブラー:	業を受け 修上の区分 コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	中は積極的に参加すること。ノートを用すてください。勉強した内容を繰り返します。	図ることは必須です。予 し復習して覚え,使いこ 図 遠隔授業対応 週こ 普通をでき 同」 指え 現て 名前 でき でき でき でき でき でき でき でき でき でき	習と復習も必要なせるようになる。 ごとの到達目標 題話、簡体字、多 ござい、こなる。 に代詞と疑問詞ができるようになる。 にできるようになる。 になるの中国語が なるの概況を理解している。	です。新出単語を予習した上で授いましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表 の呼び方と書き方を使いこなせるよ の、紫禁城と万里の長城について紹				
授業の アク 受談	ティブラー:	業を受け 修上の区分 コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	中は積極的に参加すること。ノートを用けてください。勉強した内容を繰り返し 計画 ICT 利用 授業内容	図ることは必須です。予 し復習して覚え, 使いこ 図 遠隔授業対応 週こ 普通でで 同」 指えて の の の の の の の の の の の の の	習と復習も必要なせるようになる。 この到達目標 証託、節体字、行きるようになる。 こべに詞と疑問詞ができるようになる この概況を理解している。 このできるようになる。 このできるまたなる。 このできるまなる。 このできるまたなる。 このできるまたなる。 この	です。新出単語を予習した上で授 かましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子 名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものをまる。 の呼び方と書き方を使いこなせるよ し、紫禁城と万里の長城について紹				
授業の アク 受業計	ティブラー:	業を受け 修上の区分 こことが 週 1 1 1 1 1 1 1 1 1	中は積極的に参加すること。ノートを用すてください。勉強した内容を繰り返します。	図ることは必須です。予 し復習して覚え,使いこ 図 遠隔授業対応 週こ 普でで 同し 指えて 名うに 中介で 同し 数等	習と復習も必要なせるようになるとの到達目標 正との到達目標 証話、簡体字、代表 を含ようになる。 にできるようになる。 にできるようになる。 などの明国語で でなるの概況を理解している。 にできるようになる。 にできると、 にできると。 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると。 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると。 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると。 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると。 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると。 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると。 にできると、 にできると、 にできると、 にできると、 にできると。 にできる。 にできると。 にできる。	です。新出単語を予習した上で授 です。新出単語を予習した上で授 です。新出単語を予習した上で授 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子 名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表 る。 か呼び方と書き方を使いこなせるよ し、紫禁城と万里の長城について紹 る。				
授業の アク 受業計	ティブラー:	業を受け 修上の区分 コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	中は積極的に参加すること。ノートを用けてください。勉強した内容を繰り返します。	図ることは必須です。予 一/復習して覚え,使いこ ② 遠隔授業対応 過ご 音でで 同一 指現で 名が 中介で 同一 数等	習と復習も必要なせるようになってとの到達目標 近との到達目標 通話、び、う に代詞とようになる。 に代詞とよう中国語の なるるの概況を理解に であるの概況を理解に できるになる。 このである。 この	です。新出単語を予習した上で授 です。新出単語を予習した上で授 です。新出単語を予習した上で授 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子 と記しまう。 の呼び方と書き方を使いこなせるよ の呼び方と書き方を使いこなせるよ の、紫禁城と万里の長城について紹 る。				
授業の アク 受談	ティブラー:	業を受け 修上の区分 コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	日は積極的に参加すること。ノートを用けてください。勉強した内容を繰り返します。	図ることは必須です。予 一/復習して覚え,使いご 図 遠隔授業対応 過ご 音でで 同 指現で 名うに 中間へで 同 数等	習と復習も必要なせるようにない。 ごとの到達目標 通話でいまいができる。 に代詞と疑うになる。 に代詞とようになる。 にでするとの明語ではないできるとの概以を理解にきる。 できるとのである。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。	です。新出単語を予習した上で授いましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子 発音声調変化、身の回りのものを表 おりましょう。 おりましょう。 本音を表します。 本音を表します。 本音を表します。 本語を表します。 本語を表しまする。 本語を表します。 本語を表しまするます。 本語を表します。 本語を表します。				
授業の □ アク 授業計	ティブラー:	業を受け 修上の区分 一次 一 一 一 一 一 一 一 一	中は積極的に参加すること。ノートを用すてください。勉強した内容を繰り返します。	図ることは必須です。予 一/復習して覚え,使いこ 図 遠隔授業対応 過ご 音音で 同」 指現で 名うに 中国へで 同」 数写 月日 簡単 動化	習と復習も必要なせるようになるとである。 ごとの到達目標 話がようにはない。 ではないではいかではいたではないである。 にできなどの関語ができないである。 にできなどのではいたできないである。 にできなどのではいたできないである。 にできないである。 にできなどのではいたできないである。 にできないである。 にできなどのではいたできないできないである。 にできないである。 にできないである。 にできないである。 にできないである。 にできないである。 にできないである。 にないできないである。 にないできないできないできないできないできないできないできないである。 にないできないできないできないできないできないできないできないできないできないでき	です。新出単語を予習した上で授いましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表 る。 の呼び方と書き方を使いこなせるよ し、紫禁城と万里の長城について紹 る。 ができるようになる。 を作成し、発音できるようになる。				
授業の □ アク 授業計	ティブラー: 画 1stQ	業を受け 修上の区分 この区分 このののでは、 このののでは、 このののでは、 このののでは、 こののでは、 このでは、 このでは、	中は積極的に参加すること。ノートを用けてください。勉強した内容を繰り返します。	図ることは必須です。予して 図 遠隔授業対応 図 遠隔授業対応 過ご 音音で 同 指現で 名うに 中介で 同 数で 月日 簡単 動作	習と復習も必要なせるようになるとである。 ごとの到達目標 話がようになる。 に代詞とようになる。 に代詞とよう中国語がなるの概ようになる。 なのである。 にでするとのである。 になるのではなるである。 ないできるとのである。 になるである。 になるのではなるである。 になるのではなるである。 になるのではなるできる。 にならいたを用いた。 にならいたを用いた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならいた。 にならい。 にな。 にならい。 になら、	です。新出単語を予習した上で授いましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表 る。 の呼び方と書き方を使いこなせるよ し、紫禁城と万里の長城について紹 ができるようになる。 を作成し、発音できるようになる。 とを表現できるようになる。				
授業の □ アク 授業計	ティブラー: 画 1stQ	業を受け 修上の区分 一次 一 一 一 一 一 一 一 一	中は積極的に参加すること。ノートを用けてください。勉強した内容を繰り返しまりでできた。 一 ICT 利用 授業内容	図ることは必須です。予して 図 遠隔授業対応 図 遠隔授業対応 過ご 音音で 同 記えて 名うに 中介で 同 数で 月間 動が	習と復習も必要なせるようになるとの到達目標 ができるとの到達目標 ができるとのでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他	です。新出単語を予習した上で授いましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表 る。 の呼び方と書き方を使いこなせるよ し、紫禁城と万里の長城について紹 ができるようになる。 を作成し、発音できるようになる。 とを表現できるようになる。				
授業の □ アク 授業計	ティブラー: 画 1stQ	業を受ける であります。	日は積極的に参加すること。ノートを用すてください。勉強した内容を繰り返します。	図ることは必須です。予して関え、使いことは必須です。予して関え、使いことは必須です。予して関え、使いことを関係を関係を表する。 日本の	習と復習も必要なせるようになるとの到達目標 ができるとの到達目標 ができるとのでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他のでは、他	です。新出単語を予習した上で授いましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表 る。 かできるようになる。 表現ができるようになる。 を作成し、発音できるようになる。 とを表現できるようになる。 ま現いものの日中比較ができるようになる。				
授業の □ アク 授業計	ティブラー: 画 1stQ	業を受ける であります。	日は積極的に参加すること。ノートを用けてください。勉強した内容を繰り返します。	図ることは必須です。予して 図 遠隔授業対応 図 遠隔授業対応 過ご 音音で 同 記えて 名うに 中介で 同 数で 月間 動が	習と復習も必要なせるようにない。	です。新出単語を予習した上で授いましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表 る。 かできるようを使いこなせるよう、紫禁城と万里の長城について紹 る。 表現ができるようになる。 を表現がきるようになる。 とを表現できるようになる。 とを表現できるようになる。 とで表現できるようになる。 とで表現できるようになる。 とで表現できるようになる。 とで表現できるようになる。 とで表現できるようになる。 とで表現できるようになる。				
授業の □ アク 授業計	ティブラー: 画 1stQ	業を受ける であります。 では、	日は積極的に参加すること。ノートを用すてください。勉強した内容を繰り返します。	図ることは必須です。予ごとは必須です。	習と復習も必要なせるようにない。 ごとの到達目標 話が、、ういでは、が、ういでは、できるようにはいる。 に代きるよの中国語ではなる。 はなるの概なようになる。 はなるのである。 はなるのではなる。 はなるのではなる。 はなるのではなる。 はなるのではなる。 はないではなる。 はないではなる。 はないではなる。 はないではなる。 はないではなる。 はないではなる。 はないではなる。 はないではなる。 はないではなる。 はないではないではないでは、はないではないでは、はないではないでは、はないではないでは、はないでは、はないでは、はないではないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないでは、はないではないでは、はないでは、はないでは	です。新出単語を予習した上で授いましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表 の呼び方と書き方を使いこなせるよ 大装・城と万里の長城について紹 できるようになる。 表現ができるようになる。 上を表現できるようになる。 とを表現できるようになる。 これり、 戦略を説明できるようになる。 して知り、 概略を説明できるようになる。				
授業の □ アク 授業計 前期	ティブラー: 画 1stQ	業を受ける であります。	日は積極的に参加すること。ノートを用けてください。勉強した内容を繰り返します。	図ることは必須です。予ごとは必須です。	習と復るようになる。	です。新出単語を予習した上で授いましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表 の呼び方と書き方を使いこなせるよ し、紫禁城と万里の長城について紹 る。 さ表現ができるようになる。 を作成し、発音できるようになる。 とを表現できるようになる。 思いものの日中比較ができるようにな こ知り、概略を説明できるようにな 」を表現できるようになる。				
授業の □ アク	ティブラー: 画 1stQ 2ndQ	業を受け 修上の区分 一次 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 10 10	日は積極的に参加すること。ノートを用すてください。勉強した内容を繰り返します。	図ることは必須です。予ごとは必須です。 一として覚え, 使いことは必須です。 一として覚え, 使いことは必須です。 一とは必須です。 一とは必須です。 一個には必須です。 一面には必須です。 一面には必須です。 一面には必須です。 一面にはなる。 一面にはな。 一面にはなる。 一面にはなる。 一面にはなる。 一面にはな。	習と復るようになる。 これでは、 できない できない できない できない できない できない できない できない	です。新出単語を予習した上で授いましょう。 実務経験のある教員による授業 発音声調変化、日中挨拶の違い、子名詞を用い、身近な人を簡単に紹介 什么'を使って、身の回りのものを表 。 の呼び方と書き方を使いこなせるよ し、紫禁城と万里の長城について紹 る。 できるようになる。 を表現ができるようになる。 とを表現できるようになる。 思いものの日中比較ができるように て知り、概略を説明できるようにな				

		5週	5週 ′彳		"得' '給' の用法				'得'を用いて「~しなければならない」を表現できる ようになる。 「~をあげる」「~をくれる」が表現				
	6) 7) 8)		l l	中国区					できるようになる。 中国の家族形態,中国の改革開放について理解できる				
				中国で	文化(6)				ようになる。 同上				
				後期中間試験					· - 				
	9週 10 11 4thQ 12 13			'会"能	能"可以'の用法	<u>.</u>			《できる三兄弟》の使い方が理解できるようになる。				
			<u>周</u>	持続の	の表現				持続表現ができるようになる。				
			周	'来' '	去'の用法				「~しに来る」「~しに行く」が表現できるようになる。				
4			周	比較の	の表現	「◇◇は△△より 〜			~~だ」を表現できるようになる。				
			周	会話	計練習			簡単な中国語の文を作成し, 発音できるようになる。					
		14ì	週中国		国文化(7)			中国の教育事情と人口問題, 漢字文化, 食文化につい て理解できるようになる。					
	1				国経済 (2)			日本企業の海外進出について理解できるようになる。					
16週													
分類	アカリー	トユ	フムの 分野	子苩	内谷と到達 学習内容						到達レベル	授業週	
刀規	1		(J) EJ		子百四合	学習内容の到達目標					判廷レバ ソル	前2,前3,前	
基礎的能力	人文・社会 科学		社会		地理歴史的 分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。			社会が共	3	4,前5,前 9,前10,前 11,前12,後 1,後2,後 1,後4,後 5,後9,後 10,後11,後 12,後13		
					現代社会の 考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実明について人文・社会科学の観点から展望できる。				資料を活 どの活動 会の実現	3	前6,前7,前 13,前14,前 15,後6,後 7,後14,後 15	
						それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる 寛容さが必要であることを認識している。			け入れる	3	前2,前6,前 7,前11,前 13,前14,前 15,後6,後 7,後14,後 15		
	工学基础	グローバ! ゼーション ・異文化: 文化理解	ョン 化多	グローバリ ゼーション ・異文化多 文化理解	様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。			な事項に	3	前6,前7,前 11,前13,前 14,前15,後 6,後7,後 14,後15			
						11,前 異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。 3 14,前 6.後					前6,前7,前 11,前13,前 14,前15,後 6,後7,後 14,後15		
評価割合													
試験					表	相互評価	態度		ポートフォリオ	その他	合計		
総合評価割合 100			t			0	0		0	0	100		
基礎的能力 100		0	(0	0		0	0	100		
専門的能力 0						0	0		0	0	0		
分野横断的能力 0				0	0 0 0		Įυ		0 0				